

皆さんこんにちは。この度高知大学に入学いたしました、教育学部学校教育教員養成課程の竹元一平です。私の出身は、岡山県立西大寺高等学校です。高校時代は、3年間を剣道に捧げ、1年間主将を務めました。高校ではあまり良い成績を残すことができませんでした。だからこそ、ここ高知大学剣道部で勉学と剣道に一生懸命はげみ、良い成績を修められるように頑張っていきたいと思っております。

さて、高校時代の武勇伝と聞かれますと、絶対に「跳躍素振りを1時間やり続けたこと」と言えます。自分の技術の足りなさ、そして気持ちの弱さを克服するために跳躍素振りを1時間やめずにやり続けました。当時はふらふらになりながらも必死でやっていましたが、今考えるとそれはそれでよい思い出だなと思えます。当時のつらさがあったからこそ、どんなにつらいことがあっても乗り越えられる自信がありますし、自ら強さを求めていく剣道ができるのだと確信しています。これから始まる第2章のストーリーを進みながら指導者になるための力をつけて参りたいと思います。長くなりましたがこれで自己紹介とさせていただきます。